

株式会社ハルディン (Jardin Co., Ltd.)

～時代の流れに対応し日本農業の発展に臨む～

法人概要：昭和54年に設立。主な事業内容は、家庭園芸向けの花、カラーリーフ、野菜のポット苗の生産・販売と、営利向けの花、カラーリーフ、野菜苗および植物工場を利用した無農薬野菜苗の生産・販売です。

<http://www.jsjardin.co.jp/>



本社は千葉県印西市にあり、現在では国内の8カ所の農場で生産を行っています。また、中国山東省に自社直営農場の「萊陽花楽町有限公司 / LAIYANG JARDIN SEED

CO., LTD.」を設立し、日本と同様の栽培管理方法を踏襲し、高品質の苗を生産しています。



沿革：法人を設立した昭和54年に底面灌水システムの開発により農林水産大臣賞を受賞したのを始め、昭和55年に内閣総理大臣賞、昭和57年に三井農業省を受賞しました。平成18年に現在の社名に変更し、平成24年に第41回日本農業賞大賞、第51回農林水産祭天皇杯、日本フラワービジネス大賞2012大賞を受賞しました。

～植物の力で生きる希望と 日々の生活に安らぎを～

ハルディン (JARDIN)はスペイン語で「庭」という意味です。

ハルディンでは他社に先駆け植物生産に製造業の発想を取り入れ、いち早く生産システム化に取り組んできました。商品開発から生産・販売・デリバリーそしてコンシューマーサポートまでの一貫したサービスを提供し、高度な受注生産体制を確立しています。

高品質の苗を、プロの生産者や家庭園芸を楽しむアマチュア園芸家の皆さまに真心を込めてお届けします。

植物の「楽しみ方」を添えてマーケットに送り出すことをモットーに、植物を通して社会に「潤い」、「安らぎ」、「喜び」を与えていくことを目指しています。

カラーリーフと言えばハルディン



コリウスやヒューケラをはじめとした、カラーリーフの圧倒的な品揃えは、マーケットから高い評価を受けています。色々な楽しみ方を提案することで、新たなマーケットの開発にも日々取り組んでいます。

～接木ロボットの導入～

2014年春より、オランダ製のトマト接木ロボット3台と選別機1台を利用した接木苗生産を行っています。人件費の高騰にともない、繁忙期の人員確保がより難しくなっている状況の中、ロボットを活用した生産の効率化、安定した品質の確保に努めています。接木ロボットは1時間あたり最大1,000本を接ぐことが可能です。繁忙期に集中する大量の注文に対しても、安定的に苗を供給する体制を確立しています。



～MPSへの取り組み～

MPSへの参加は、各社員がより積極的に各植物、各病害虫に対して効果的な農薬、効率的な散布方法を考える姿勢を身に付ける、よいきっかけになりました。

これからもMPSを通して、考えて行動することをさらに自覚し、無駄のない効率的な生産、環境に配慮した経営に取り組んでいきたいと思っています。